

## 第9回 大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会 議事概要

開催日時	令和4年12月1日(木) 18時30分～20時00分
開催場所	子育て支援・世代交流センター(UPっふ) 2階会議室
出席者	今西委員、地下委員、針田委員、藤井委員、山村委員、菊屋委員、酢谷委員、大西委員、横山委員、中川委員、中辻委員、寺田委員、堀内委員
欠席者	西脇委員、荒木委員、鈴木委員
事務局	教育部長、こども政策部長、教育部教育監、教育部次長、こども政策部次長、学校教育G課長、教育施設G課長、保育・教育G課長補佐、教育総務G主任、(株)パスコ
傍聴者	3名
案件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 答申(案)について</li> <li>3. 今後のスケジュールについて</li> <li>4. 閉会</li> </ol>
資料	<p>資料1 大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針について(答申)(案)</p> <p>資料2 大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針について(答申)(案)修正箇所一覧</p> <p>資料3 これからの学校園のあり方検討委員会委員から提出された答申(修正案)に対するご意見について</p> <p>資料4 パブリックコメントについて</p>

<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発言者</b>	<b>発言の内容</b>
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は、ご多忙のところ、また夜分にもかかわらず、ご出席いただきお礼を申し上げます。</li> <li>・ ただいまから第9回大阪狭山市これからの学校園のあり方検討会を開催する。</li> <li>・ 本日の委員会の出席状況は委員総数16名中13名で、2分の1以上の出席をいただいていることから、大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会設置規則第6条第2項の規定により、この委員会が成立していることをご報告申し上げます。</li> <li>・ 本日の傍聴者は3名である。</li> <li>・ 本日の会議については120分をめぐりすべての議事を終了したいと考えているので、ご協力をお願いします。</li> <li>・ 配布資料確認。</li> <li>・ 以降の議事進行については委員長をお願いします。</li> </ul>
委員長	<p><b>2 答申（案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆さん、こんばんは。本日は、ご多忙のところ夜分にお集まりいただきお礼を申し上げます。</li> <li>・ 気温も下がっているので、体調に気をつけていただくようお願いします。</li> <li>・ それでは次第に従って議事を進行する。</li> <li>・ 本日は、大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針について、本委員会で答申（案）についての議論を深めていきたい。120分ということで、要領よく進めたいので、ご協力をお願いします。</li> <li>・ 答申（案）について事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料説明</li> <li>・ 前回の検討会での意見を踏まえ一部修正した答申（案）について事務局から説明があった。</li> <li>・ 本日は、事務局から説明のあった内容を踏まえ、修正案をもとに、先生方からあらかじめいただいた意見について、本検討委員会としてまとめる方向で最終的な意見集約を行いたいと考えている。</li> <li>・ 修正案に対する意見について事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料説明</li> <li>・ 1と2について、表現方法として「検討してください」を「検討すべき」に戻した方がよいとの意見があった。表現が強すぎるということだった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の委員会では「対策の検討を開始すべき」という言葉に対して表現が強すぎるとの意見があり、修正案で「推進に期待する」となっているわけだが、元の答申案を見直したところ、ほかの部分でも「すべき」</li> </ul>

委員	<p>と書いている箇所があるので、特別表現が強いとは思わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2番については本当に進めてほしいという思いがある。元の案の18ページに「具体的な対策を講じるべき」との表現があったので、前回の議論の結果、意見が取り入れられなかったが、再度検討してほしい。</li> <li>・文章の中には「すべき」が混在している。</li> <li>・われわれの立場として、実行するのは教育委員会なので、行為を制限するような書き方は好ましくない。「すべき」ではなく「してください」の方がよいのではないか。教育委員会の手足を縛るような書き方は好ましくない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回もどちらが強力かという議論をしたが、方向性が変わるわけではなく、今後の取組みに大きく影響するとは考えにくいので、どちらでもよい。特に影響はないと思われる。</li> </ul>
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人の委員からご意見をいただいたが、事務局から何かあるか。</li> <li>・こども園に関してはどちらでもよく、この委員会で決めてもらいたいと考えている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に本質的に変わるものではないので、事務局に一任ということでよいか。</li> <li>・反対はないようなので、1番と2番については事務局に適切な言葉を選んでいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3番について、9年制の義務教育の推進の「推進」という言葉は削除とのご意見が出ている。これについてご意見をいただきたい。</li> <li>・大規模校の必要な対策として（ア）から（オ）まで5つ示しているが、（オ）の「小中学校が連携した9年制の義務教育の推進」のところだけ「推進」となっているため、これだけが進められるように感じる。</li> <li>・例えば小中一貫校は、近隣の学校を一貫校にする場合や離れた小学校と中学校を一貫校にする場合、施設一体型にする場合など様々な手法があるが、大阪狭山市の3つの中学校と7つの小学校のどこを念頭に置いているのか。</li> <li>・東小学校と狭山中学校の課題解決の手法として考えているのか、それとも小規模校の南第一小学校・南第三小学校と南中学校を一緒にしようと考えているのかがわからない。</li> <li>・前回、教育委員会としては、方針の中に記載しておくことで動きやすくなるということだったが、小中一貫校を計画し、保護者・市民・児童生徒の理解を得てスタートするまで時間を要している例が多いと思うので、2030年には過大規模校になるかもしれないという状況を考えると、それでは到底間に合わないのではないか。</li> <li>・この項目は、教育委員会が調査・研究をされるのは良いと思うが、大阪狭山市の状況がわからないのに自信を持って答申はできない。答申として責任を持って書けない。この検討を始めることによって課題解決が後</li> </ul>

委員	<p>ろにずれこむのではないかと危惧している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正規模についてはあれだけメリット・デメリットの検討に時間をかけたにもかかわらず、こういう大きなことを十分論議しないままに答申してよいのかが気になっている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問だが、小規模校の対策としての「9年制の義務教育の推進」については特に気にならないということか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校の対策についても同様に気になっている。</li> <li>・9年制の義務教育が大阪狭山市にとって必要かどうかを今決めるのではなく、推進ということで引き続き検討していくことで良いと思うので、このままの記載で良いと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回、9年制の義務教育を進めることで大阪狭山市全体が一つの校区になると理解していたが、それについては違うという説明があったと思う。具体的には、小規模校への対応なのか、大規模校への対応なのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東小学校と狭山中学校の問題を解消するためであれば、隣接する学校同士の小中一貫校ということになるが、小中一貫校にすることで教室数や運動場の狭さは解消できるのか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の問題も出てくる。</li> <li>・9年制の教育というのは、小学校と中学校が連携・協力し合い、地域の子どもたちを育てるということだと思う。これは一般の学校でも必要なことだと思うが、ここに書いていなければ教育委員会としては進めにくいものなのか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年制が出てきた背景の一つには中1ギャップという問題もある。</li> <li>・私たちが審議している案の一つの選択肢として理解しているが、事務局からご意見があればお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中が連携した教育はすでに行っている。</li> <li>・今後さらにいろんな形を検討していくにあたって、選択肢を広げるという意味で、義務教育学校や小中一貫校の手法についても答申の中に入れていただくとありがたいと考えている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の理解と同じで、手法の一つとして入れておきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう趣旨であれば推進のままでよい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あくまでも選択肢の一つとして「推進」を入れてもよいか。</li> <li>・反対はないようなので、そうさせていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4番、東小学校の対応についてもっとクローズアップしてほしいとの意見が出ている。これについてはどうか。</li> <li>・東小学校の厳しい現状をもう少し書いていただきたい。</li> <li>・先日、東小学校の創立150周年記念式があり、学校が昔から撮っている航空写真を見せてもらった。当初は校舎からも職員室からも見渡せるすばらしい運動場だったのが、児童の増加とともに校舎が建ち、運動場がどんどん狭くなった。</li> </ul>

<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当時から歴代の会長は市に問い合わせをしてきた経緯がある。このあり方委員会でやっと実現すると思っていたが、この記述では全く反映されていないように感じる。広い運動場にすると約束したのに、そういう動きがない。教育委員会に裏切られてきたという思い。</li> <li>・ 過去の歴史はよく知らないが、これまでの思いを明確に記述してほしいということである。</li> <li>・ 先生方いかがか。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いだけで、具体的にどう直せばよいかまでは思いがいたっていないが、もう少し事務局で吟味してほしい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員のご意見は、そのまま私も同じ意見である。</li> <li>・ 地域の保護者・子どもを含めた数十年来の思いではあるが、現実的には土地がなければできない。飛び地ということもあるのかもしれない。</li> <li>・ ただ、資料にあるように、隣接とまで書いてしまうと実質的にお一人を示すことになるので近隣くらいでどうかと思うが、方針の中に入れられるかどうかは、個人の権利もあるので、法的なところも含めて事務局で考えてもらいたい。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後の2行について、本当にここまでの文章を入れるのかと驚いたが、審議の中で考えていただければよいと思っている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局にお任せする。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局に任せるとのことなので、それでよいか。</li> <li>・ それでは、この議題については事務局にお任せする。</li> <li>・ 4番の件について事務局から提案はあるか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東小学校についても課題と認識しているので、22ページの下から7行目に表記しているが、例えば狭山中学校と東小学校と同様に取り扱う形で考えさせていただきたい。修正も含め検討していきたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 付け加えになるが、現状の狭くて使いにくい運動場というものに対して、子どもたちが不便を克服するすべを身につけるための素材だと理解し、克服する力をつけられればマイナスをプラスにできると思うので、今から何十年の努力をしていただければとてもうれしい。文章には盛り込みにくいかもしれないが、文言として入れるかは別にして、子どもたちのためにも、マイナスをプラスにという意味である。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大事な意見をいただいた。</li> <li>・ 4番の件について他に意見等はないか。なければ次に進めたい。</li> <li>・ 5番は表現を改めてはどうかということだが意見をいただきたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭山中学校の出身で、運動場の問題は長年の案件というか、以前から指摘されていたことである。それに加えて、生徒数が増えれば狭い運動場がさらに狭くなる。</li> <li>・ 大きな問題は運動場の狭さであり、その次に児童数増加に対する問題が生じているので、こういう文章にしてはどうかと思った。建物が古いの</li> </ul>

	<p>は皆さんご存じだと思うので、その文言はなくし、スッキリした文章に変えてはどうかという提案である。</p>
<p>委員 委員 委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物が古いことも明記したほうがよいのではないか。</li> <li>・入れてもよいが、建物が古いのはわかっているから、これでよい。</li> <li>・ほかに先生方から意見はないか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局いかがか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山中学校の校舎は最も古い建造物である。増築している部分もあるので、すべての校舎ではないが、その辺りも踏まえて最も古い校舎であるとしていただくのは、事務局としてもこだわるところではない。</li> <li>・最も古いのは旧校舎の新築部分ではない部分なので、そこは皆さんもご認識いただきたい。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修正案の形にしてはどうか。</li> <li>・特に反対はないようなので、了解いただいたと考える。</li> <li>・6番の南中学校区の問題。今後の狭山ニュータウン地区の状況も踏まえ、統合と決めつけるのではなく、大きな方向性を示す表現にしてはどうかとの意見である。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山ニュータウンでは、平成30年に活性化指針ができ、市民自ら活性化に取り組んでいるところである。目標として市民が自らのこととして取り組み、市民もがんばり、行政もがんばり、団体もがんばる、そういう建付けで始まっている。</li> <li>・昨年も今年も事業を行っており、大きな目標として、高齢化が相当進んでいる狭山ニュータウンなので、子育て世代を引き入れる魅力のある地域にできないかということで取り組んでいる。</li> <li>・その一方で、南第一小学校と南第三小学校の統合が独り歩きすると、がんばっている我々としては思うところがある。</li> <li>・近大病院の移転もあり、府営住宅の建替えもあり、狭山ニュータウンは相当変わるのではないかとと思っている。</li> <li>・狭山ニュータウンの中で空き家が出ると、2つか3つに敷地を分割して小さい区画で家を建て、そこに若い人が入ってきている。最近特にそれが目につくような状況になっている。</li> <li>・われわれとしては好ましい方向にあると思っているので、「状況を見ながら検討を進める」といった趣旨の内容にしてもらえるとありがたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針は概ね何年先を考えているのか。期間によって考え方が変わってくるのではないか。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮に統合となったとしても地域住民との意見調整も必要になる。その際に議論がかみ合うのか。それを考えると、選択肢として持っておいた方がよいのではないか。</li> <li>・われわれの立場で、今の段階で統合と決めることができるのか。それが後々尾を引くようなことになれば、逆効果になるような感じがする。</li> </ul>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民はがんばっているわけで、関係ないということであれば、教育委員会にやってもらえばよい話である。</li> <li>・この委員会ではあり方の方策を示しているのであって、それぞれ個別で違ってくると思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールも含め、諸般の事情を考慮してどうするかを考えるのではないか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは次の段階の話だと思う。</li> <li>・ほかに意見はないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局、今の意見を中心として何かあるか。</li> <li>・現在、市でニュータウンの活性化について検討を進めているのは確かである。</li> <li>・この方針については、概ね 20 年先の中長期的な方針で、方向性という意味での方針と考えている。</li> <li>・市の方向性としても、ニュータウンの活性化は重要な施策と考えているので、整合性を図る必要があると考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状からみて今後の人口動向も低空飛行がずっと続くと思込まれる一方で、住民はがんばっている現状がある。</li> <li>・今後の見通しを推計する中で、テクニカル的なところはあると思うが、同じような人口構成の他市町村での推移はどうだったのかなど、コンサルの調査能力や意見も入っていると思う。</li> <li>・いろんなパラメータが入ってこういう推計になっていると思うが、どういった情報までを考慮しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の人口推計については、既に確定しているものについては一定反映させているが、今後の開発などの見込みについては反映させていない。今後のニュータウンの活性化や府営住宅の建替えについては、要素としては考えられるが、推計の数字には直接は反映させていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の人口推計については、当初からそういう説明であった。</li> <li>・ただ、実態として、がんばっている中で、何のためにがんばっているのかという思いはある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この会の最初でも申し上げたが、言い方はきついが、誰でもできる情報収集と分析に出費するのか、推測ではあっても根拠のある推測がここに入るべきではないのか。</li> <li>・そもそも論になるが、今日の議論としては、市民の努力を盛り込むような文章は考えていただけのではないかとと思っている。私もよく知っているが、市民は切実に自分のこととして動いている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私も狭山ニュータウン活性化の委員会に参加しているが、南第一小学校と南第三小学校の統合こそが活性化につながると思っている。</li> <li>・今の状況では親は子どもを入れたくない。統合して学校を新設し、新しい教育体制にすれば、子どもたちにとっても好ましく、保護者に訴える</li> </ul>

委員	<p>力にもなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合しても東小学校の半分にも満たない人数である。</li> <li>・大規模の効果もあるが、少なければ子ども同士の縦の連携が深まり、上級生が下級生の面倒を見るのでつながりも深まる。</li> <li>・ニュータウンの親御さんで統合して複数学級にしなければと考えている人がどれだけいるのか。</li> <li>・教育面では小さいなりの良さもあるが、少ない学校を運営するにも最低限のお金がかかるので、財政面では厳しいところもある。良いところと悪いところの両方あると思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この委員会で2学級以上を適正規模としているので、単学級はどうなのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級数を決める会ではないので、この文章がほかの方の目に触れたときに、われわれの努力は反映されなかったと思われることを懸念するのであれば、「統合も視野に入れて」といったやわらかい言葉にする。それが限界ではないか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の狭山ニュータウン地区の状況、将来の見通しが意見の中に入っている。大事なことも入っているので、落としどころを考えながら意見を修正するというところで、事務局に任せてもよいか。</li> <li>・そのようにさせていただくので、よろしく願います。</li> <li>・先生方からいただいたご意見の整理が終わった。これまでご審議いただいた内容、先生方の意見が反映されていると思う。もちろん中には反映されない部分があったかもしれないが、われわれなりに審議してきたと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあればご意見をいただきたい。</li> <li>・13 ページの6行目、「預かり保育の長時間化」という文章自体に疑問がある。本当に預かり保育の長時間化が保護者のニーズなのか。</li> <li>・預かり保育という言葉の意味も知りたい。</li> <li>・前回、何時から何時まで幼児教育をされているか、それについてルールがあるのかと質問すると、わからないという回答だったので、その回答もいただきたい。</li> <li>・幼児教育サービスを受ける時間は、受益者に適正に施されてほしいと思っている。つまり、教育時間の長さが適正なのかどうかという問題があって、その上でそれをはみ出た部分が預かり保育という位置づけになるのかどうなのか。言葉の意味がよくわからない。</li> <li>・それによって書き方は変わらと思う。どういう書き方があるのか私もわからないので、皆様のご意見をお伺いしたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の時間について、先生方からご意見があれば願います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局、今のご質問、預かり保育の問題、いかがか。</li> <li>・教育時間の終了時間の決定に関して、文書として残っているものは</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>なかったが、週休2日の土曜日の部分を平日に振り分ける際、その時間を充足するために平日の時間に長短ができたと認識している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間帯が異なるのは、次の日の保育の準備であったり、教職員の研修の時間だったり、それも含めて教育時間が増減したのではないかと思う。</li> <li>・経緯はわかったが、理由になっているのか。</li> <li>・子どもたちを中心に考えた場合、子どもの後ろには保護者がいて、保護者は何を望んでいるのか。</li> <li>・水曜日は午前中までなので、働いている保護者は預かり保育の延長として支払わなければいけない。スタンダードではなく、はみ出ている部分だと認識していると思う。</li> <li>・毎日同じ時間に働いている保護者にとって短い時間があったりするのは都合が悪いと思う。</li> <li>・子どもたちにとっても、早い時間があったり遅い時間があったり、毎日同じ時間ではない。研修でこの週は遅くなるというのは理解できるが、毎週そういう時間割というのは何か意味があるのか。子どもたちにとってプラスになるのか。</li> </ul>
<p>委員長 副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちにとって有意義かどうか。</li> <li>・とても難しいことだと思いながらお聞きした。</li> <li>・幼稚園という教育機関において、1学級を担当する教員数は決まっているので、限られた教員数で園を運営しなければならない。そうすると教育の時間がある程度縛られてしまう。</li> <li>・教育＝保育になるかもしれないが、その時間が縛られて、預かり保育の時間に影響しない範囲で午前までの水曜日がある。</li> <li>・預かり保育が子どもたちにとってプラスか。これに関しては、大阪狭山市でも保育所・こども園の方がニーズは増えているのが現状で、その理由は共働きのご家庭が多くなっているからだと思う。</li> <li>・専任で仕事をしていなくても、用事があるってお迎えに行けないこともあるので、他市でも預かり保育で時間を延長して預かっている園もある。</li> <li>・先生が子どもの安全を守るという視点で、保護者が迎えに来るまで安全な場所である園で保護する。</li> <li>・5歳児までの子どもたちが、保護者がいない状態で、どこが安全かと考えたときには、通っている園で預かるのが子どもにとっては最も安全な場所になる。慣れ親しんだ先生がいる場所でもある。</li> <li>・保護者の方のお迎えが遅れたり、時間が過ぎたりしたときに必要な形として預かり保育がある。</li> <li>・先生方の終業時間は労働基準で8時間という縛りがある中で、保育所は2交替、こども園も2交替、3交替があるが、幼稚園はそれがいない状態で運営している。</li> <li>・預かり保育の長時間化は、確かにニーズとしてはそれほどないのかもしれない。</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>れないが、子どもが安全な場所は園が一番だと考えると、今後のこととして予定しながら検討していただくことが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園は保育所のように出勤時間を変えることはできない。その点も踏まえると体制を変えることも必要で、難しい点ではあるが、それも今後は検討していかなければ幼稚園を維持していくのは難しい。</li> <li>・この検討委員会でも公立の幼稚園は必要で、残してほしいとの意見が多かったことを踏まえると、幼稚園の機能として、給食や送迎バスはしかり、子どもが自宅に帰るまでの安全な居場所として預かり保育の長時間化も検討いただくべきではないかと思う。</li> </ul>
<p>副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の長時間化は受け皿であるということはよくわかるが、これから未来志向の新しい園が開かれるはずなので、今までの時間割でよいのかが気になる。</li> <li>・午前中保育というものがなくなれば、そもそも預かり保育を利用しなくてもよい保護者も出てくると思うので、預かり保育の長時間化が保護者のニーズと書くのは、そもそも違うのではないか。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由として「保護者からのニーズのためだけでなく」も入るのかもしれない。</li> <li>・多くの市で水曜日だけは午前中に行っている。週のうちの1日を午前中だけにしているのは、教育現場は現代社会に合わせて変わっていき、学習指導要領も改訂されていくので、幼稚園の先生方も小・中・高の先生方も研修が必要になる。</li> <li>・それを土曜日に行うのは難しいので、全員が研修を行えるように1日だけ午前中に行っているという面はある。</li> <li>・全園が集まって共有ができるという利点が大きいのので、1日は午前だけにして午後は研修会や先生方の学び直しなど、質の高い教育・保育を推進していくためには外せないところになる。</li> <li>・これが土日となると先生方の負担が大きい。その分、振替休日を取ってもらうことになる。</li> <li>・担任を代えるのは難しく、複数担任とするのも難しいと思うが、補助教員が入るなどして余裕が出てくれば解決できるのではないか。</li> </ul>
<p>副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪狭山市の子育てサポーターとして、できるだけ多くのお子さんが公立の幼稚園に入ってほしいと思って励んでいるところであるが、選ばれない。いろんな理由があって、どうすれば解消できるのか悩ましい。</li> <li>・保護者のニーズを本当に把握できているのか。それがこの部分なのか、疑問に思った。良い修正案はないか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「など」というところに、保護者のニーズだけではなく、子どもたちの成長や発達も踏まえた部分もあつての保護者のニーズの的確さ、両方だと思っている。</li> <li>・給食は決して保護者のためだけに提供されるべきではない。</li> </ul>

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎に関しても、身体的能力が発達する幼児期なので、すべてが送迎バスでよいのか。その分を幼稚園かどこかで補っていかなければいけないのではないかという意見もあると思う。</li> <li>・そういうことも踏まえて、保護者のニーズだけという理由に特化されていることに疑問を持たれたのではないか。</li> <li>・根本的にこの会は子どもや児童・生徒のためにどうあるべきかがベースなので、あえて書いていないのかと私は思っていた。それがベースにあって、それプラス、保護者にニーズとして、こういうことも把握すべきという意味合いと思っている。</li> <li>・この会自体が大阪狭山市の子どもの未来のために行われているのであり、子どもや児童・生徒のためにということを書きだすと、すべてに書くことになってしまうので、答申としてはこのままの文章でよい。</li> <li>・たくさん理由はあるが、そこに加えて保護者のニーズもしっかり把握するということであり、どれが優先事項なのかというと、これ以外にも出てくるかもしれないので「など」を使って記述されていると思っている。</li> <li>・預かり保育があることが当然で、その上で長くせよと読めるので、それは行き過ぎではないかという意見か。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育はどこから始まっているのか、誰の目線で始まりを決めているのか。</li> <li>・未来志向の園にふさわしいものになってくれればよいが、この書き方だと保護者が預かり時間を求めているということにならないか。</li> </ul>
<p>副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言われることはよくわかるが、預かり保育という言葉は国も使っており、本市の施策でも使っている統一の文言になる。</li> <li>・保育は子どもたちを預かって養育・教育をしているということであれば、わざわざ「預かり」という言葉を付ける必要はないということだが、園として登園時間と降園時間は決まっているので、降園後の時間を預かり保育としてとらえていると思う。</li> <li>・降園後の預かり保育の時間を長時間化するのかどうかよりも、「預かり保育自体をどうしていくのか」という文言に変えるのは、一つのご提案ではないかと思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付け加えるなら、先生方が研修を毎週しているのは、余力がなければできないことだと思う。子どもたちにとっても大切なことなので、子どもたちのために時間を使ってくれている公立の幼稚園は本当にありがたいと思っている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い部分として私立との差別化にもなると思った。</li> <li>・水曜日の午後に先生方が研修しているのは知らなかった。個々の教育の質を高めるという意味で、その時間に充てているのは非常に有意義であると思う。</li> <li>・今の質問がなければ、労基の時間調整のためにそのカリキュラムがない</li> </ul>

<p>委員長 委員</p>	<p>ととらえられかねないので、せつかく質を高めるような教育方針を出しているのであればもっとPRすればよい。研修時間に充てていることを知れば納得できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副委員長の話を聞いて整合性がとれていると思った。</li> <li>・充実した議論でお礼を申し上げる。私もお聞きするまで知らなかった。</li> <li>・こども園の場合は、教育で入っている1号の人たちも水曜日は給食を食べて帰っているのか。</li> </ul>
<p>副委員長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日も食べて帰っている。こども園は一律2時降園である。</li> <li>・こども園のカリキュラムは幼稚園とは時間帯が違う。</li> <li>・前回、幼稚園の魅力をもっとアピールして入園者を増やさなければいけないと発言したときに、時間がなかったので言いそびれたことがある。</li> <li>・各園で地域の子どもたちを集めて努力をされているのはお聞きしている。預かり保育の延長が親のニーズかどうかはわからないが、例えば給食を自園でというのは素朴な要求だと思う。教育委員会としては、教室が足りない、小さい3歳児には大きな具材の給食は無理という理由で受け入れが難しいということであるが、教室が空いているのであれば、受け入れに関しては、人がいればできるのではないか。</li> <li>・センターで給食ができなくても、可能であれば、こども園の給食室が市内の幼稚園の給食センターという形で、トラックではなく、もっと小さな規模の車で3園に送ることもできるのではないか。</li> <li>・前は時間が足りなくて言えなかったが、現場の先生方や各園が努力しているのは十分に理解している。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の意見としては、水曜日以外にも大阪府や南河内の研修会、また大阪狭山市の教育研究会等もあり、できれば今後も水曜日は空けておきたい。研修のための大事な時間である。</li> <li>・職員数が少なく、一人の先生が幾つも委員や係を持っている状況で多忙な中で頑張っておられる。</li> </ul>
<p>委員 副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正職の先生が難しいのであれば補助教員など、予算の問題もあるので、あらためて教育委員会にお願いしたい。</li> <li>・公立園だけではなく、私立園でも人数がいるからこそ曜日を変えながら研修されている。決して公立園だけに研修制度があるわけではないので、誤解のないようにお願いします。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かみ合ってきたところで終わることになるが、他に発言したい方はいるか。なければ終わらせていただくが、よろしいか。</li> <li>・本日は先生方から多くの意見を頂戴した。事務局には本日の意見を反映した形で答申を修正いただきたい。</li> <li>・次第3、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>3 今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のスケジュールについて説明する前に、この場でお諮りしたい点が</li> </ul>

<p>委員長 事務局</p>	<p>ある。委員長、よろしいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ない。説明をお願いする。</li> <li>・本日いただいたご意見を踏まえ修正を行った答申については、大変恐縮であるが、最終の修正を今西委員長にご確認いただき、12月8日に今西委員長から竹谷教育長に手渡しでお願いしたい。よろしいか。</li> <li>・ご異議がないようなので、そのように進めさせていただく。</li> <li>・なお、委員長に確認していただいた答申書の写しについては、後日、委員の皆さまに郵送する。</li> <li>・今後のスケジュールについて説明する。本日の会議で皆さまからいただいたご意見の整理など、所要の調整をさせていただいた答申をもとに、教育委員会で基本方針（素案）を作成し、パブリックコメントの手続きに入る。</li> <li>・公表の時期は令和4年12月26日を予定している。公表の方法は、市内の公共施設での閲覧の実施及び市のホームページへの掲載を予定している。</li> <li>・市民の皆さまからいただくご意見の提出期間は令和5年1月20日までとしており、提出方法は教育総務グループへ直接提出するほか、郵便及び電子メールでも受け付けする予定である。</li> <li>・なお、パブリックコメントにて提出されたご意見については、意見の概要、それに対する教育委員会の考え方、また、提出されたご意見により修正する場合はその修正内容を公表することとなっている。</li> <li>・これらについてはパブリックコメント終了後に委員の皆さまにもメール等で情報提供したいと考えている。</li> <li>・パブリックコメント実施後については、来年2月の教育委員会定例会議に議案として上程し、議決を得た後、策定という予定になっている。</li> <li>・その後は、令和4年度の総合教育会議において、基本方針を踏まえた今後の進め方について、市長と教育委員とで意見交換を行っていただく予定である。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から今後のスケジュールについて説明があった。皆さまにご承認いただいたように、最終の修正を確認して教育長に12月8日にお渡しする。その後は、教育委員会で基本方針を作成してパブリックコメントを実施、来年2月に正式に策定という段取りになっている。</li> <li>・これまで2年間にわたり9回の検討委員会を開催し、夜遅くに先生方にお集まりいただき、お疲れのところ、非常に活発なご意見をいただいた。</li> <li>・本日も実のあるご意見をたくさん頂戴し、私も学習させていただいた。大変有意義な議論、意見交換ができた。これも、皆さまのご協力のおかげだと思っている。また、そういったことを踏まえて良い答申ができたと感じている。</li> <li>・第9回で委員の役割は終わることになる。ご協力いただきお礼を申し上</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あり方検討委員会の資料や議事録について、第7回まではホームページで公表されているが、第8回から今日まではとても短かったので、文書化が間に合わなかったのだと思っている。第8回の資料と本日の資料が載るのはいつ頃になる予定か。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な時期は申し上げられないが、できるだけ速やかに掲載していきたい。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それではこれにて終わらせていただく。</li> <li>・事務局にお返りする。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p><b>4 閉会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会の閉会にあたり事務局を代表して一言ごあいさつを申し上げる。</li> <li>・本日は、夜分にもかかわらず、長時間にわたり熱心にご議論いただき、お礼を申し上げる。</li> <li>・振り返ると、昨年7月以来、本日の9回目まで、委員の皆さまには熱心な議論をいただき、心から感謝申し上げたい。</li> <li>・1年半という長丁場で、皆さまから専門的な知見、さまざまなご意見をいただき、熱心に議論していただいた。この内容については、答申の内容として十分に理解し、本市の学校園の適正規模・適正配置に向けて着実に取り組んでいくとともに、本市の子どもたちの教育環境の充実に向けて今後も努めてまいりたい。</li> <li>・今後とも、委員の皆さまにおかれましては、本市の教育の振興に向けて一層のお力添え、ご指導を賜りたい。今後ともよろしく願います。</li> </ul>